

(案)

第2次 茂原市スポーツ推進計画

● スポーツを楽しみ健康で活気のあるまち 茂原 ●



【みんなでラジオ体操会の様子】

令和3年4月

茂原市教育委員会

目 次

第1章 はじめに

- 1 第2次茂原市スポーツ推進計画策定の背景と趣旨・・・・・・・・・・・・・・・・・・P1
- 2 第2次茂原市スポーツ推進計画におけるスポーツの範囲・・・・・・・・・・P1
- 3 第2次茂原市スポーツ推進計画の位置づけ・・・・・・・・・・・・・・・・・・P2
- 4 第2次茂原市スポーツ推進計画の期間・・・・・・・・・・・・・・・・・・P3

第2章 茂原市のスポーツの現状

- 1 スポーツ活動に関するアンケート・・・・・・・・・・・・・・・・・・P4～8

第3章 計画の基本的な考え方

- 1 基本理念・・・・・・・・・・・・・・・・・・P9
- 2 基本目標・・・・・・・・・・・・・・・・・・P9

第2次茂原市スポーツ推進計画の体系・・・・・・・・・・・・・・・・・・P10～11

第4章 基本施策と具体的展開反映

基本目標Ⅰ：生涯スポーツの推進

1. 子どもの体力の向上とスポーツ活動の推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・P13～14
2. スポーツに親しむ機会の充実・・・・・・・・・・・・・・・・・・P15
3. パラスポーツ（障害者スポーツ）の定着と推進・・・・・・・・・・P16
4. スポーツによる健康増進の充実・・・・・・・・・・・・・・・・・・P17
5. スポーツに関する情報提供の充実・・・・・・・・・・・・・・・・・・P18
6. 体育協会との連携・・・・・・・・・・・・・・・・・・P19

基本目標Ⅱ：競技スポーツの推進と指導者の育成

1. 組織の育成と競技力の向上・・・・・・・・・・・・・・・・・・P21
2. 指導者育成の推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・P22
3. スポーツ大会の開催と交流の促進・・・・・・・・・・・・・・・・・・P23

基本目標Ⅲ：スポーツを活用した地域づくり

1. 総合型地域スポーツクラブの支援・・・・・・・・・・・・・・・・・・P24
2. スポーツを通じた交流の充実・・・・・・・・・・・・・・・・・・P25
3. スポーツボランティア活動の推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・P26
4. スポーツによる地域活性の推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・P27

基本目標Ⅳ：スポーツ施設の整備と有効活用

1. スポーツ施設の整備、充実・・・・・・・・・・・・・・・・・・P29
2. 「身近なスポーツの場」の充実・・・・・・・・・・・・・・・・・・P30

第1章 はじめに

1. 第2次茂原市スポーツ推進計画策定の背景と趣旨

スポーツは広く国民に浸透し、ニーズが競技指向から健康志向へと変化するなど、スポーツを取り巻く環境は大きく変化しています。このような変遷の中で、国は昭和36年に制定された「スポーツ振興法」を全面改訂し、平成23年6月に「スポーツ基本法」を制定しました。「スポーツ基本法」は、すべての人々にスポーツを通じて幸福で豊かな生活を営む権利を初めて認めるとともに、心身の健康保持増進、青少年の健全育成、地域の一体感や活力の醸成等、スポーツの多様な役割を示しました。更に、国のスポーツ政策の具体的な方向性を示すものとして、2017年に「第2期スポーツ基本計画」が策定され、地方公共団体は「スポーツ基本計画」を参酌して、その地方の実情に即したスポーツの推進に関する計画を定めるよう努めることとされています。

国の動きを受け「スポーツ立県ちば」を目指す千葉県においても、2017年に「第12次千葉県体育・スポーツ推進計画」が策定されており、本市においても「茂原市スポーツ推進計画」に引き続き、5年経過した現状を踏まえた「第2次茂原市スポーツ推進計画」を策定し、スポーツの推進を図ることとしました。

近年、当市も高齢化の進展や健康志向の高まりから、健康寿命の延伸や生活習慣病の予防・改善など、スポーツを通じた健康づくりへの期待が大きくなっています。また、市民の誰もが気軽にスポーツを楽しめる環境を整え、心身両面からの健康づくりを進めることが重要になってきております。

この計画は、一人でも多くの市民が生涯に渡ってスポーツに親しみ、健康で明るく豊かな生活を送ることができるよう、本市のスポーツの推進に関する取り組みの方向性を示すものです。

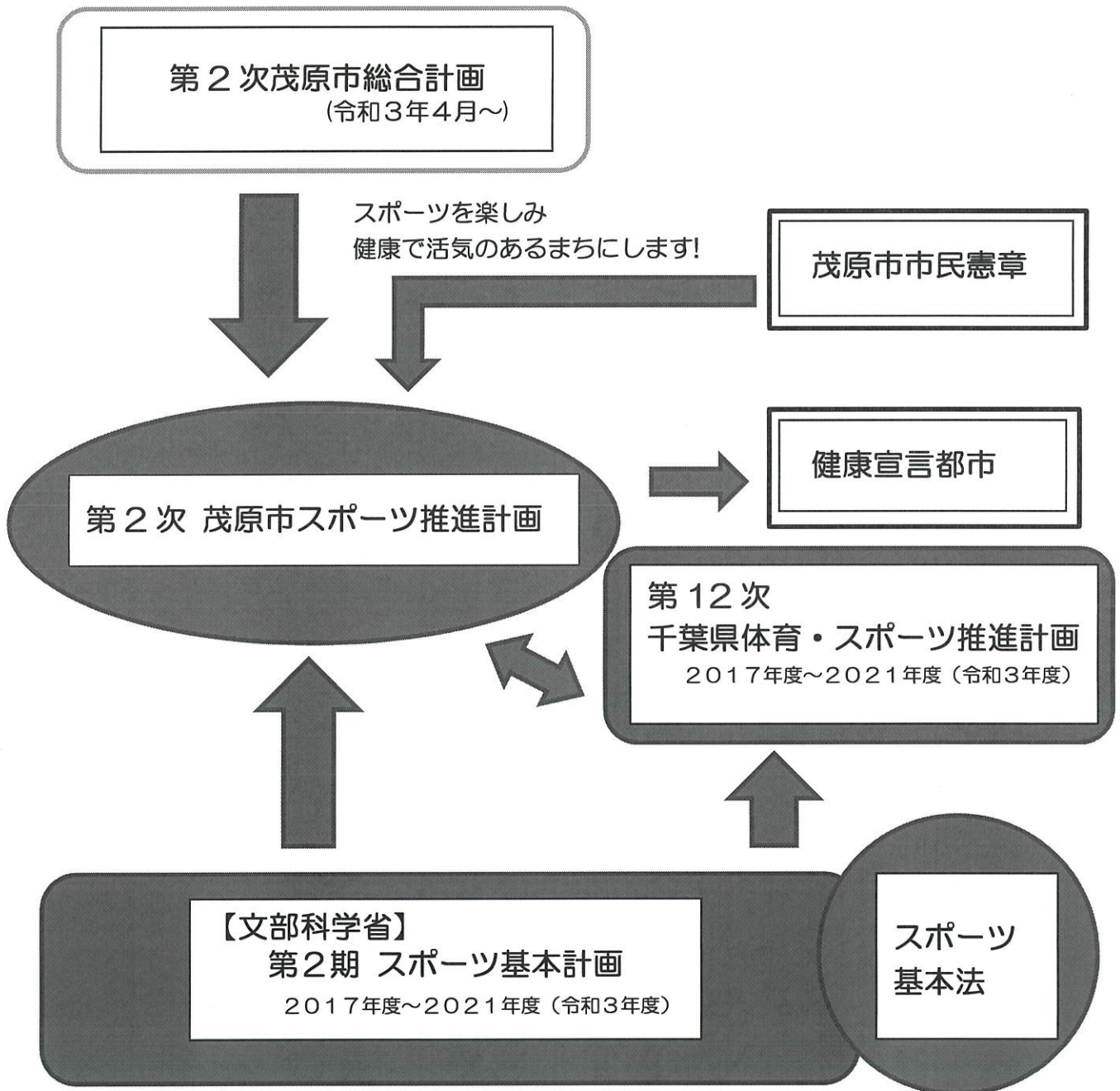
2. 第2次茂原市スポーツ推進計画におけるスポーツの範囲

スポーツといえば、一般に速さ、高さ、強さ、技、得点などを競う競技スポーツや、肉体的鍛錬を目的としたものをイメージすると思います。しかし、その語源には「気晴らしをする」「遊ぶ」「楽しむ」という意味があり、「競争」「鍛錬」だけでなく「遊戯」の要素を含む身体運動のすべてを指していると言えます。従って、競技として勝敗や記録を競う「チャンピオンスポーツ」及び健康づくり、体力づくりの遊戯的要素を持つ「レクリエーションスポーツ」など、「体を動かす活動」のすべてをスポーツの範囲として考えています。

3. 第2次茂原市スポーツ推進計画の位置付け

計画は、国のスポーツ基本法（平成23年法律第78号）第10条第1項に基づくスポーツの推進に関する計画で、茂原市市民憲章に掲げる「スポーツを楽しみ健康で活気のあるまちにします。」を遵守しながら、「健康宣言都市・茂原」の実現に資するものです。

また、茂原市総合計画を上位計画とし、これに基づくスポーツ推進のための基本方針と位置付けます。



※スポーツ基本計画

スポーツ基本法(2011年公布・施行)に基づき、文部科学大臣が定める計画。

第2期は2017年度~2021年度(令和3年度)

4. 計画の期間

計画の期間は、茂原市総合計画との整合を図り、令和3年度から令和7年度までの5年間とし、今後の社会情勢の変化などで計画の見直しが必要な事項等が生じた場合は、必要に応じて見直すこととします。

令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 10年度	令和 11年度	令和 12年度
← 茂原市総合計画 →									
← 第2次 茂原市スポーツ推進計画 →									

第2章 茂原市のスポーツの現状

1. スポーツ活動に関するアンケート

令和2年1月、20歳以上の茂原市民2,000人を年齢別に無作為に抽出し、「スポーツ活動に関するアンケート調査」を実施したところ、791人から回答がありました。(回収率39.55%)

アンケート結果では、現在、何かスポーツ・運動を実施している市民は471人(60%)で、していない市民312人(39%)を上回りました。5年前の第1次計画を策定する際のアンケートでは運動している方が52%に対して、今回は60%となり、実施率が向上した結果となりました。第1次計画の5年間に於いて、タッチバレーボールやラジオ体操の普及、ウォーキングマップの発行によるウォーキングの促進、障害者スポーツの推進等を実施した成果により、スポーツ・運動の実施率が向上したと考えられます。

【茂原市のスポーツの現状：スポーツ・運動の実施率】

アンケート結果：あなたは現在、何かスポーツ・運動をしていますか。

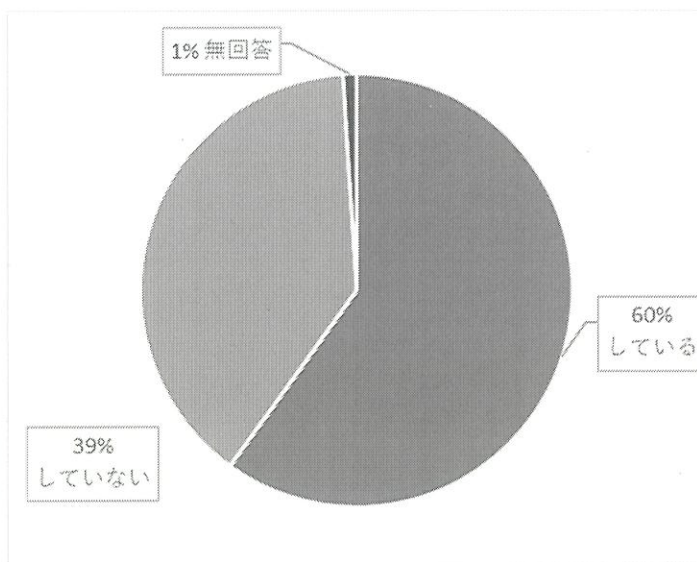
	している	していない	無回答	計
回答者数	471	312	8	791
割合	60%	39%	1%	100%

前回回答	52%	48%
------	-----	-----

←平成28年第1次計画策定時アンケート結果

<年代別表>

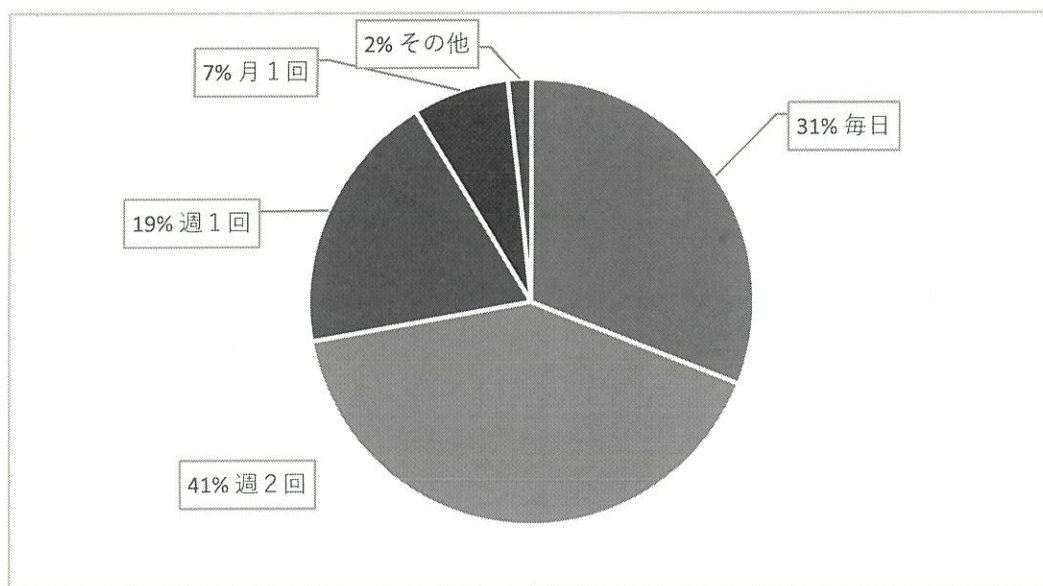
	している		していない		無回答	計
	回答数	年代割合	回答数	年代割合		
20代	28	46%	33	54%	0	61
30代	36	37%	62	63%	0	98
40代	47	49%	48	50%	1	96
50代	42	49%	43	51%	0	85
60代	115	71%	46	28%	2	163
70歳以上	203	72%	80	28%	0	283
年齢不明	0	0%	0	0%	5	5
回答者数	471		312		8	791
全体割合	60%		39%		1%	100%



【茂原市のスポーツの現状：スポーツの実施頻度について】

アンケート結果：どれくらいの割合で、スポーツ・運動をしていますか。

	毎日	週2回	週1回	月1回	その他	計
回答者数	146	194	90	33	8	471
割合	31%	41%	19%	7%	2%	100%



<年代別表>

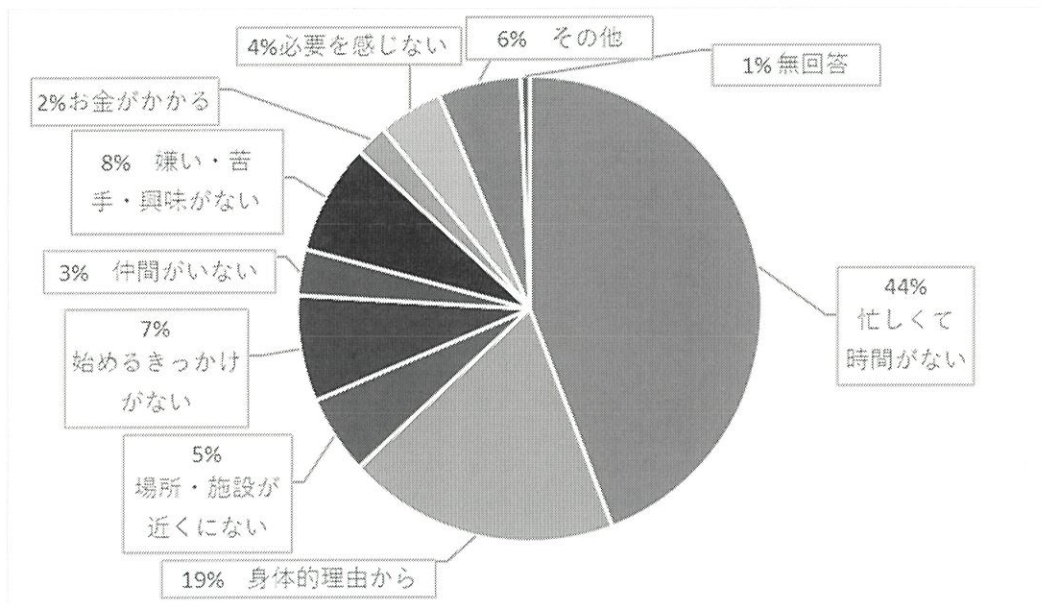
	ほぼ毎日	年代割合	週2回	年代割合	週1回	年代割合	月1回	年代割合	その他	年代割合	計	全体割合
20代	3	10%	14	48%	3	10%	8	28%	1	3%	29	6%
30代	9	26%	10	29%	10	29%	4	12%	1	3%	34	7%
40代	16	35%	19	41%	7	15%	3	7%	1	2%	46	10%
50代	11	25%	17	39%	10	23%	5	11%	1	2%	44	9%
60代	30	27%	56	50%	20	18%	5	4%	2	2%	113	24%
70歳以上	77	38%	78	38%	40	20%	8	4%	2	1%	205	44%
回答者数	146		194		90		33		8		471	
全体割合	31%		41%		19%		7%		2%			100%

【茂原市のスポーツの現状：スポーツ未実施の理由】

スポーツ・運動をしていない理由としては、「忙しくて時間がない」が圧倒的に多く、20歳代から50歳代の就労されている世代にスポーツ・運動ができない現状が確認されました。

アンケート結果：あなたがスポーツ・運動をしていない理由を教えてください。

	忙しくて時間がない	身体的理由から	場所・施設が近くにない	始めるきっかけがない	仲間がない	嫌い・苦手・興味がない	お金がかかる	必要を感じない	その他	無回答	計
回答者数	138	59	17	23	10	24	7	14	18	2	312
割合	44%	19%	5%	7%	3%	8%	2%	4%	6%	1%	100%



<年代別表>

	忙しくて時間がない	身体的理由から	場所・施設が近くにない	始めるきっかけがない	仲間がない	嫌い・苦手・興味がない	お金がかかる	必要を感じない	その他	無回答	計
20代	21	0	2	3	1	3	0	0	1	0	31
30代	37	1	0	4	3	6	3	1	5	0	60
40代	26	2	4	4	2	6	1	2	2	0	49
50代	25	1	2	5	2	3	1	3	0	0	42
60代	16	9	5	4	0	3	2	2	4	0	45
70歳以上	13	46	4	3	2	3	0	6	6	2	85
回答者数	138	59	17	23	10	24	7	14	18	2	312
%	44%	19%	5%	7%	3%	8%	2%	4%	6%	1%	100%

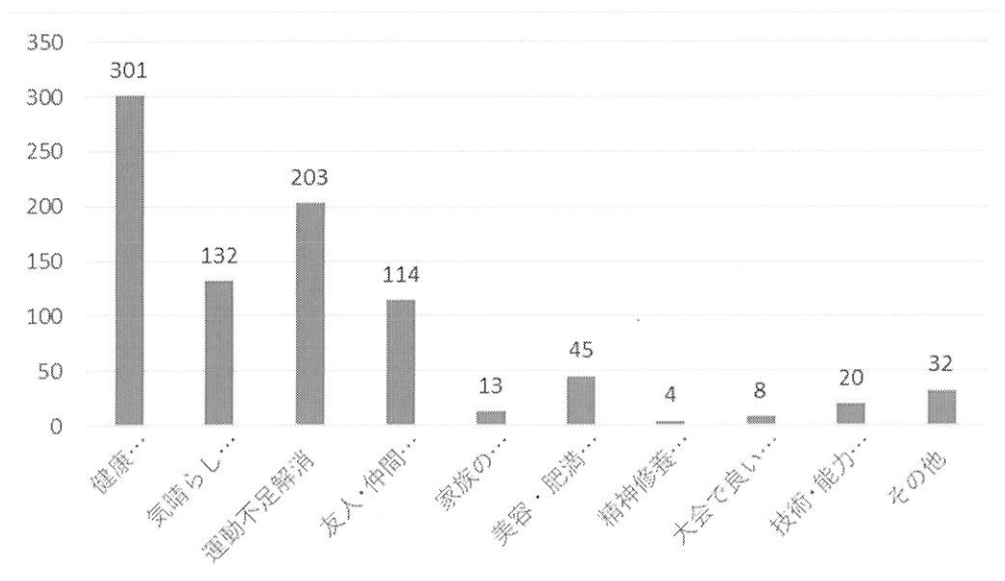
【茂原市のスポーツの現状：スポーツをする理由】

スポーツ・運動をする理由としては、「健康・体づくり」、「運動不足解消」、「気晴らし・ストレス解消」が大半を占めていますが、「友人・仲間との交流」、「家族とのふれあい」を目的としたコミュニケーションツールとして、スポーツ・運動を行っている意見も確認できました。

アンケート結果：スポーツ・運動をする理由は何ですか。（2つまで〇可）

	健康 体づくり	気晴らし ストレス解消	運動不足解消	友人・仲間 との交流	家族の ふれあい	美容・肥満 解消	精神修養 試練	生きがい
回答者数	301	132	203	114	13	45	4	31
	会社・地域との つきあい	大会で良い 成績を収める	技術・能力 精神力向上	その他				
回答者数	21	8	20	32				

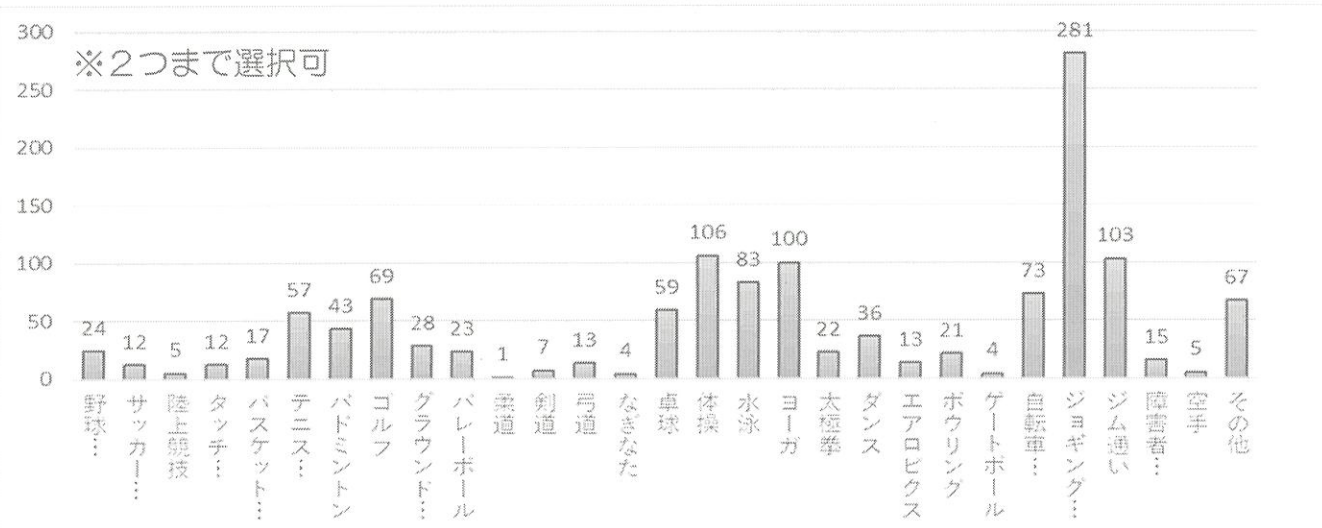
単位：人



【茂原市のスポーツの現状：現在やっているスポーツについて】

現在行っている、また、今後行ってみたいスポーツ・運動種目については、ジョギング・ウォーキングが圧倒的に多く、ヨガ、ラジオ体操などのように、個人で気軽にできるものが好まれる傾向がうかがえます。

アンケート結果：現在やっているものを含めて、今後行ってみたいスポーツ・運動はありますか。



	野球・ソフトボール	サッカーフットサル	陸上競技	タッチパレーボール	バスケットボール	テニスソフトテニス	バドミントン	ゴルフ	グラウンドゴルフ	パレーボール
20代	5	2	1	0	7	10	7	8	0	6
30代	6	5	0	0	5	9	12	4	0	2
40代	3	2	1	3	3	8	9	9	1	6
50代	2	3	1	0	1	5	5	8	2	4
60代	3	0	0	4	0	13	7	19	5	2
70歳以上	5	0	2	5	1	12	3	21	20	3
回答者数	24	12	5	12	17	57	43	69	28	23
%	3%	2%	1%	2%	2%	8%	6%	9%	4%	3%
	柔道	剣道	弓道	なぎなた	卓球	ラジオ体操	水泳	ヨガ	太極拳	ダンス
20代	0	4	3	1	5	1	8	5	1	4
30代	1	2	1	0	3	2	11	29	2	8
40代	0	0	2	1	1	6	11	24	2	1
50代	0	1	1	0	9	7	11	9	2	3
60代	0	0	1	2	21	21	17	21	7	7
70歳以上	0	0	5	0	20	69	25	12	8	13
回答者数	1	7	13	4	59	106	83	100	22	36
%	0%	1%	2%	1%	7%	13%	10%	13%	3%	5%
	エアロビクス	ボウリング	ゲートボール	自転車サイクリング	ジョギングウォーキング	ジム通い	障害者スポーツ	空手	その他	
20代	1	2	1	2	10	11	0	0	5	
30代	3	2	0	7	22	21	1	2	12	
40代	3	0	0	13	33	23	1	1	4	
50代	0	2	0	12	37	15	3	1	5	
60代	3	10	0	16	63	16	3	1	10	
70歳以上	3	5	3	23	116	17	7	0	31	
回答者数	13	21	4	73	281	103	15	5	67	
%	2%	3%	1%	9%	36%	13%	2%	1%	8%	

第3章 計画の基本的な考え方

1. 基本理念

『市民 ひとり 1スポーツ』

—— スポーツを楽しむ健康で活気のあるまち 茂原 ——

スポーツの持つ大きな力を活用し、茂原市市民憲章に掲げる「スポーツを楽しむ健康で活気のあるまち茂原」の実現のため、「市民 ひとり1スポーツ」を基本理念として茂原市スポーツ推進計画を策定し、スポーツの推進に関する目標を明確にするとともに、市民、地域、学校、行政、その他関係機関が共通の認識を持って、本市のスポーツの推進を図っていきます。

2. 基本目標

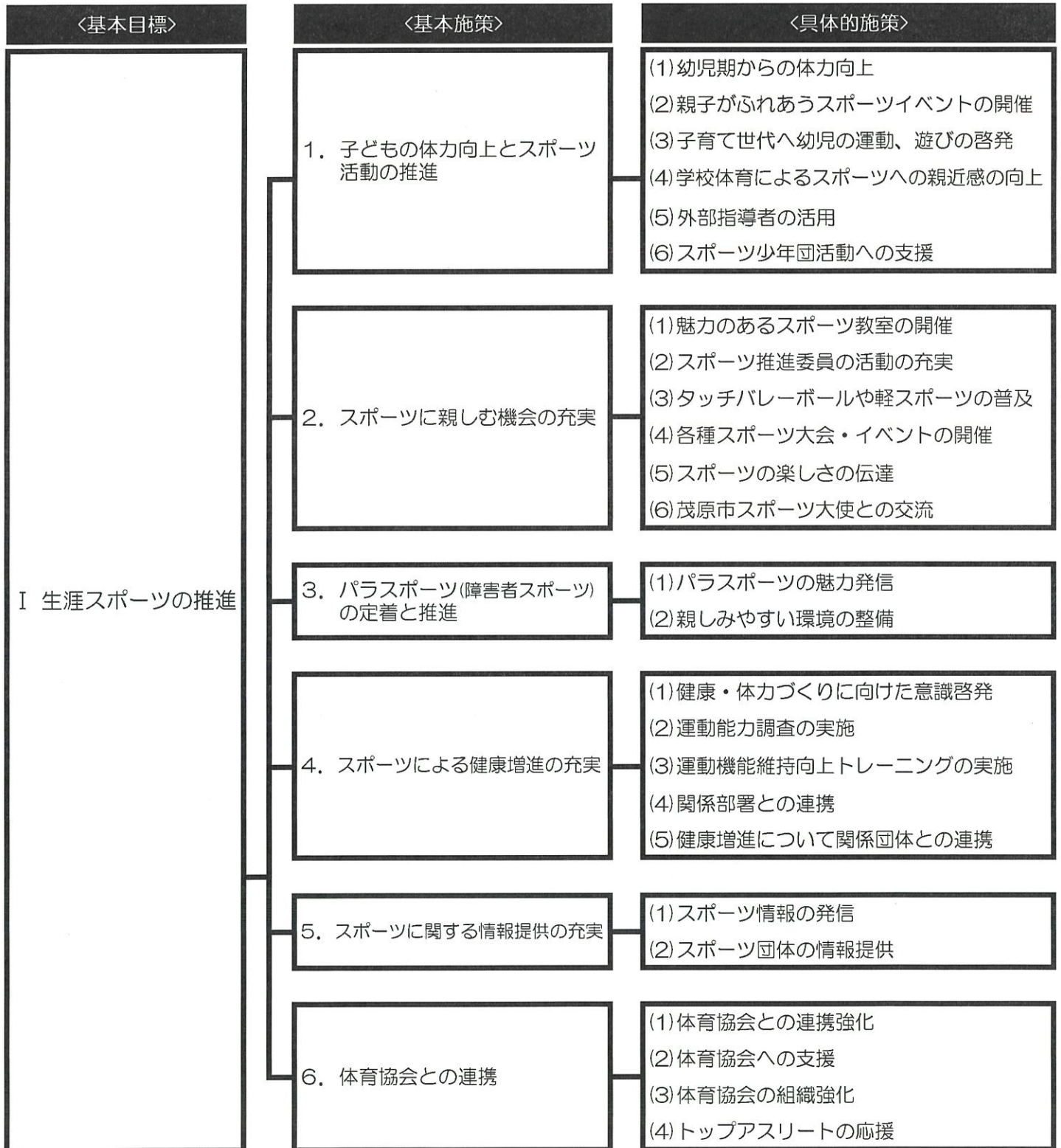
基本理念を実現させるために、以下の4項目を基本目標として、具体的な施策を展開していきます。

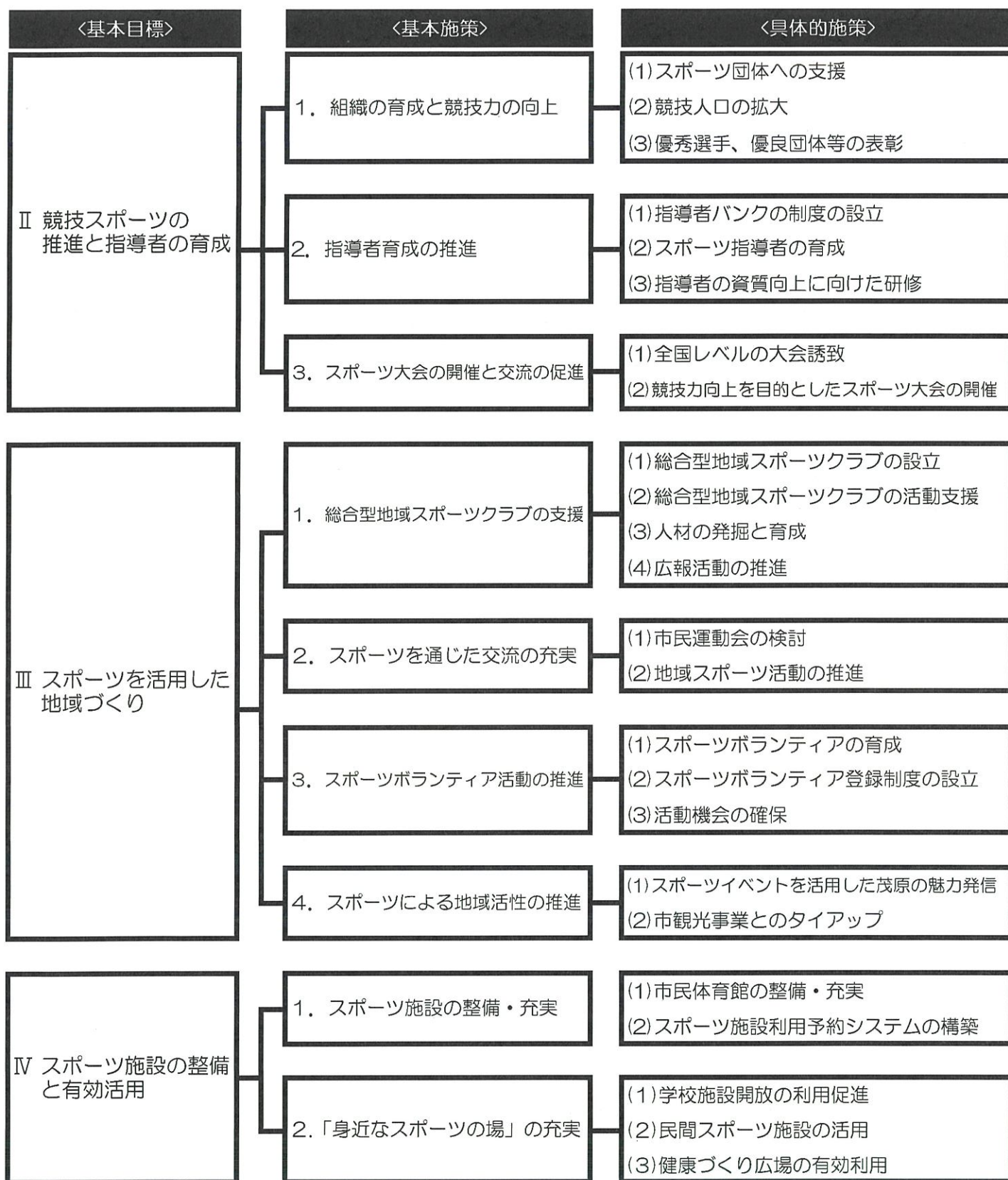
- I 生涯スポーツの推進
- II 競技スポーツの推進と指導者の育成
- III スポーツを活用した地域づくり
- IV スポーツ施設の整備と有効活用

第2次 茂原市スポーツ推進計画の体系

〈基本理念〉

『市民 ひとり 1スポーツ』… スポーツを楽しみ健康で活気のあるまち 茂原 …





第4章 基本施策と具体的展開

基本目標Ⅰ 生涯スポーツの推進

基本目標Ⅱ 競技スポーツの推進と指導者の育成

基本目標Ⅲ スポーツを活用した地域づくり

基本目標Ⅳ スポーツ施設の整備と有効活用

基本目標Ⅰ 生涯スポーツの推進

1. 子どもの体力向上とスポーツ活動の推進

【現状と課題】

- 幼児期から運動遊びを習慣づけることが重要なため、積極的な取り組みが必要です。
- 運動をする子どもとしない子どもが二極化しているため、運動をする機会が減少し、児童の体力・運動能力の低下が懸念されています。
- 子育て世代の保護者に対して、幼児が運動をする方法、運動ができる場所等の情報を啓発していく必要があります。
- スポーツ活動機会の充実を図るため、学校や地域等において、子どもがスポーツを楽しむことができる環境整備が必要です。
- スポーツをする児童が減少し、スポーツ少年団では、団員の減少が生じており、また指導者の不足も懸念されています。



保護者に対して運動心得の指導



子どもの運動教室

【施策の展開】

(1) 幼児期からの体力向上

幼児期の全身運動が「脳」を育て「心」を育てると言われており、乳幼児段階から「運動遊び」の導入が重要です。保健センターや子育て支援課、学校教育課と連携し、「運動遊び」の普及を図ります。

(2) 親子がふれあうスポーツイベントの開催

子どもの体力づくりと家族が揃って行うスポーツ活動への参加を促進するため、親子を対象とした「スポーツイベント」を開催します。イベントに参加した事をきっかけにして、親子で共通意識がもてる遊びや種目を検討し、実施します。

(3)子育て世代へ幼児の運動、遊びの啓発

幼児期の体力づくりについて知識を得たいと考える保護者に対して、啓発活動を実施します。

(4)学校体育によるスポーツへの親近感の向上

運動実施を促すために、スポーツに対しての親近感を向上させるため、小中学校と連携し、スポーツへの関心や興味を抱く事業を実施します。

(5)外部指導者の活用

小中学校におけるスポーツ推進を図るため、スポーツ推進委員の派遣をしての実技指導を行います。児童生徒に市発祥のスポーツ「タッチバレーボール」を普及するためにも、積極的な取り組みを図ります。また、中学校の要望により、専門的技術を有する外部指導者の活用を図り、部活動等の充実を図ります。

(6)スポーツ少年団活動への支援

スポーツ少年団活動の特色であるスポーツを通しての「青少年の健全育成」を啓発し、団員の募集や活動支援に努めます。



2. スポーツに親しむ機会の充実

【現状と課題】

- 余暇時間の増大や健康志向の高まりに伴い、スポーツ活動人口が増加している中、スポーツ活動の意義を共有しながら、身近で気軽にスポーツを楽しめる環境の整備が必要です。
- スポーツに親しむ機会の充実を図るため、スポーツ推進委員が様々な事業を実施し、市内各地域でのスポーツ活動に努めており、その役割はスポーツ推進の核となっています。

【施策の展開】

(1) 魅力のあるスポーツ教室の開催

誰もが参加することができ、スポーツを始めるきっかけをつくるスポーツ教室を開催します。

(2) スポーツ推進委員の活動の充実

本市のスポーツ推進の核となるスポーツ推進委員の活動が、さらに充実するよう支援するとともに、地域スポーツ活動に積極的に関わられるような環境づくりに努めます。

(3) タッチバレーボールや軽スポーツの普及

誰もが気軽に参加できるスポーツとして、本市発祥のスポーツ「タッチバレーボール」の普及に努め、併せてウォーキングやラジオ体操のような運動負荷の少ない軽スポーツも普及します。

(4) 各種スポーツ大会・イベントの開催

スポーツへの参加を促進するため、既存のスポーツ大会を開催するとともに、家族ぐるみで参加できる新たなスポーツイベントを検討します。

(5) スポーツの楽しさの伝達

スポーツの楽しみ方は「すること」と「みること」があり、楽しみ方はそれぞれです。全国大会等のハイレベルな大会等を招致して観戦を楽しむことや、トップアスリートの講演会を開催して、スポーツに対する心得や楽しみ方を聞いて、スポーツに取り組む意欲の向上を図ります。

(6) 茂原市スポーツ大使との交流

茂原市出身のトップアスリートである「茂原市スポーツ大使」と市民との交流会を実施し、子供たちが茂原市からプロ選手になれるという実感を抱け、技術と意欲の向上が期待できます。また、市民が茂原市スポーツ大使を応援することにより、「スポーツを観る」楽しみを感じることができます。

高梨 裕稔 選手 東京ヤクルトスワローズ
鶴澤 潤 コーチ シャンソン V マジック
辻 周吾 選手 愛媛FC
古川 大悟 選手 いわきFC
内藤 早紀子 選手 パナソニック女子陸上競技部
(令和3年3月現在所属)



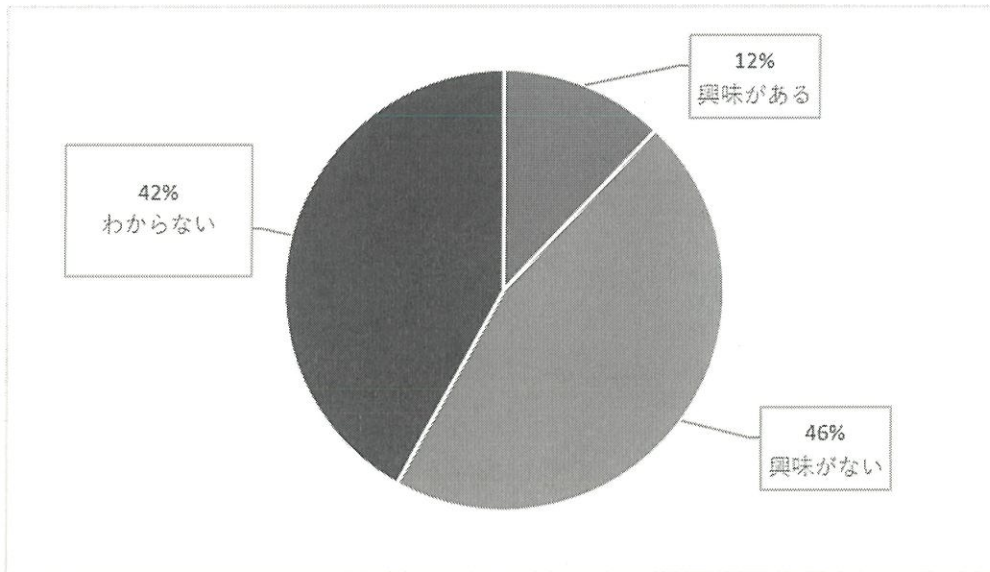
3. パラスポーツ（障害者スポーツ）の定着と推進

【現状と課題】

- 近年、パラスポーツ（障害者スポーツ）への関心が高まり、本市においても、パラスポーツ（障害者スポーツ）教室を実施しています。
- 教室の内容も充実しており、参加者が増加しているため、指導員の増員が必要とされています。

アンケート結果：障害者スポーツに関して、より一層の具体的施策を検討し取り組むうえでは、指導者の確保や育成が必要となります。障害者スポーツの指導員や運営ボランティアに興味がありますか。

	興味がある	興味がない	わからない	計	無回答
回答者数	93	354	323	770	21
割合	12%	46%	42%	100%	



【施策の展開】

(1) パラスポーツ（障害者スポーツ）の魅力発信

パラスポーツ教室等の事業を実施することで、パラスポーツの魅力を感じることができ、健常者と共にスポーツを楽しむ事ができる機会を構築します。

また、指導員の増員が必要とされているため、関係機関への協力依頼やボランティアの募集を行い、人材の確保に努めます。

(2) 親しみやすい環境の整備

障害者スポーツの魅力を感じることができ、健常者と共にスポーツを楽しむ事ができる環境の整備に努めます。

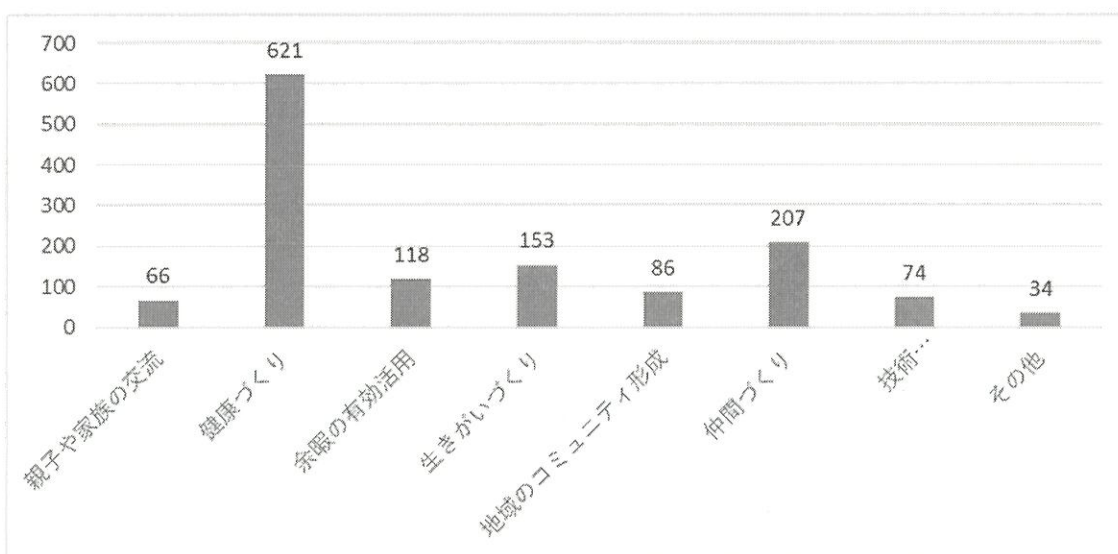
4. スポーツによる健康増進の充実

【現状と課題】

- 生活習慣病予防のための運動が不足しています。
- 高齢期の身体活動の低下による要介護者の増加が懸念されています。
- 健康寿命を延ばすためには、若年期からの運動習慣の定着が必要です。

アンケート結果：スポーツや運動に、どのような役割を期待しますか。

	親子や家族の交流	健康づくり	余暇の有効活用	生きがいづくり	地域のコミュニティ形成	仲間づくり	技術能力精神力の向上	その他
回答者数	66	621	118	153	86	207	74	34



【施策の展開】

(1)健康・体力づくりに向けた意識啓発

健康・体力づくりの観点から見たスポーツの意義など、健康とスポーツの関わりを広く周知するとともに、健康教室などを通じて、健康・体力づくりに対する正しい知識の普及に努めます。

(2)運動能力調査の実施

スポーツに取り組む上で、自分の運動能力を指標化して把握し、スポーツを実施する意欲の向上を保つため、年に1回運動能力調査を実施します。

(3) 運動機能維持向上トレーニングの実施

高齢者の介護予防等のために、運動機能の維持向上を目的としたトレーニング教室を開催します。

(4) 関係部署との連携

子供から高齢者までが、健康増進の意識を持って運動に親しむことが重要視されることから、関係部署との連携が望まれます。

幼児期から運動に親しんで、運動習慣の定着を目指すために子育て支援課、生活習慣病予防の取り組みや健康ポイント制度の導入等を検討し、運動習慣の定着を目指すために健康管理課、高齢者を対象とした健康増進教室を実施するため高齢者支援課との連携を図ります。

(5) 健康増進について関係団体との連携

各種健康増進に関する教室等において、プログラム作成や運営について、スポーツ推進委員、健康生活推進員、介護度重度化防止推進員等と連携を図ります。

5. スポーツに関する情報提供の充実

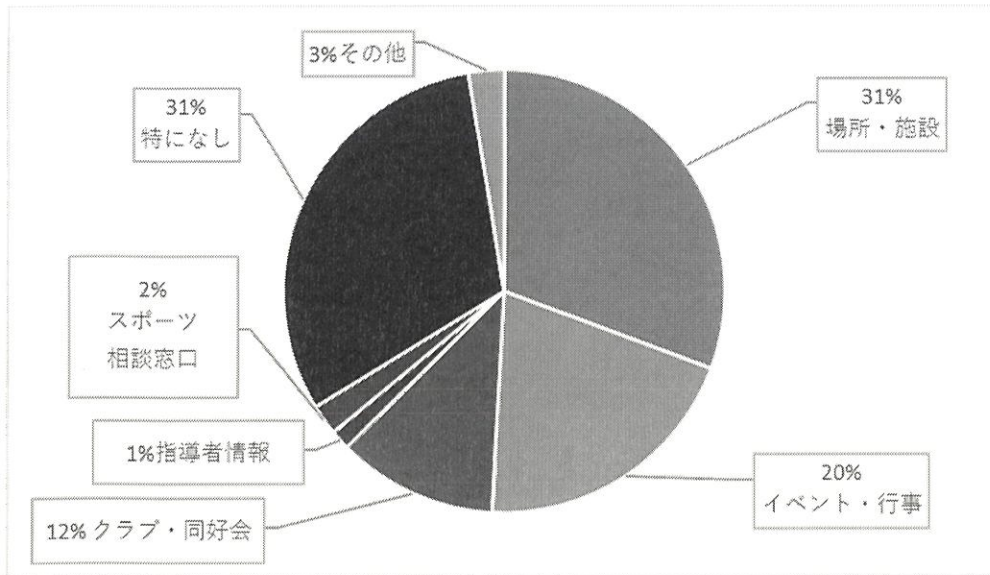
【現状と課題】

○従来の「広報もばら」やウェブページでの情報発信に加えて、タイムリーな情報発信が可能な市フェイスブックを活用して情報発信を行っています。市民が気軽に情報入手できる環境を整え、スポーツ教室や大会、スポーツイベント等の開催告知ができる方法を検討する必要があります。

○運動の楽しさや健康増進についての効果を、積極的にPRする必要があります。

アンケート結果：あなたが必要とするスポーツ情報はどのようなものですか。

	場所 施設	イベント 行事	クラブ 同好会	指導者 情報	スポーツ 相談窓口	特になし	その他	計	無回答
回答者数	233	153	89	11	17	236	20	759	32
割合	31%	20%	12%	1%	2%	31%	3%	100%	



【施策の展開】

(1) スポーツ情報の発信

広報もばら、スポーツもばら、ウェブページ、フェイスブック等で、スポーツに関する情報を広く周知します。また、市役所内にスポーツ情報専門の掲示板を設置し、スポーツに関する情報を発信します。

(2) スポーツ団体の情報提供

体育協会やスポーツ少年団等のスポーツ団体との情報交換を行い、活動報告や各種募集告知の情報提供に努めます。

6. 体育協会との連携 ※体育協会は令和4年に「スポーツ協会」に名称変更予定

【現状と課題】

- 体育協会と行政が連携を図り、市民スポーツ活動を推進する必要があります。
- 体育協会加盟25競技団体が競技普及・競技力向上のために自主的に活動を行っており、今後も自主的活動が、継続的、計画的に実施されるよう支援する必要があります。
- 体育協会活動の充実と選手強化を図るための、財源確保が必要です。

【施策の展開】

(1) 体育協会との連携強化

市の各競技団体を統括する体育協会と行政が、それぞれの役割分担を明確にして、専門知識を持つ各競技団体と協力、連携を図り市民のスポーツ活動を推進します。

(2) 体育協会への支援

加盟競技団体の自立と組織強化が図れるよう、自主的活動を支援するとともに、必要に応じて助言を行います。

(3) 体育協会の組織強化

競技普及のための事業と、県・関東・全国大会で活躍できる選手を育成する競技力向上事業の充実のための組織強化を図るとともに、千葉県民体育大会での上位入賞を目標と見据えた選手強化を図るためにも、活動財源の確保に努めます。

(4) トップアスリートの応援

茂原市出身でオリンピックや国民体育大会、高校総体等に出場した選手やプロスポーツ選手等のトップアスリートを広くPRすることにより、選手のモチベーションアップを支援し、市と体育協会が連携して応援します。

1	陸上競技協会	16	ゴルフ協会
2	野球協会	17	山岳協会
3	ソフトテニス連盟	18	ライフル射撃協会
4	卓球連盟	19	なぎなた連盟
5	バスケットボール協会	20	ゲートボール連盟
6	バレーボール協会	21	ユニバーサルホッケー協会
7	剣道協会	22	インディアカ協会
8	柔道連盟	23	グラウンドゴルフ協会
9	空手道連盟	24	ボールルームダンス連盟
10	弓道連盟	25	ボッチャ協会
11	サッカー協会		
12	バドミントン協会		
13	クレー射撃協会		
14	テニス協会		
15	ソフトボール協会		

基本目標Ⅱ 競技スポーツの推進と指導者の育成

1. 組織の育成と競技力の向上

【現状と課題】

○スポーツを実施する志向として、健康増進や体力づくりのためのスポーツに親しむ「生涯スポーツ」対して、技術や記録などの向上を目指すことを目的とする「競技スポーツ」があり、関東・全国レベルの大会に出場を目指すアスリートを育成するために、専門知識を持つ各競技団体と共に、競技力の向上に取り組む必要があります。

【施策の展開】

(1) スポーツ団体への支援

体育協会、スポーツ少年団の支援を行うとともに、常に情報交換を行い、体育協会の各競技団体が、競技人口増加や競技力向上を目的としたスポーツ教室を実施し、関東・全国レベルの競技大会への出場を目指す機運の醸成を図ります。

(2) 競技人口の拡大

競技スポーツの水準を維持するためには、競技人口の確保が重要であり、幅広い年齢層への競技スポーツの普及が必要です。そのため、各競技において活性化を図るため、スポーツ教室等の事業を実施し、競技スポーツへの参加を促し、各団体の事業の充実を図り、競技人口の拡大を図ります。

(3) 優秀選手、優良団体等の表彰

各種競技大会で、優秀な成績を収めた選手対して表彰を行う事により、選手に希望を与えることができ、モチベーションのアップから更なる競技力の向上につながる事を期待します。また、スポーツ推進に長年にわたって尽力された方などを表彰します。

2. 指導者育成の推進

【現状と課題】

- 市民ニーズに応じてスポーツ指導を行える指導者の把握が出来ていない状況です。
- スポーツに対する研究や理論が年々進んでいるが、新たな情報を得る機会が少ない状況です。

【施策の展開】

(1)指導者バンクの制度の設立

スポーツ指導者の登録を制度化するとともに、その活用が図れるよう、周知を図ります。

(2)スポーツ指導者の育成

スポーツ指導者の資格取得を支援し、指導者の育成に努めます。また、健康増進のためのリーダーの育成やパラスポーツ（障害者スポーツ）の推進を図るために指導者育成に努めます。

(3)指導者の資質向上に向けた研修

各競技スポーツ指導者の技術や、資質の向上を図るための研修会への参加を促します。また、スポーツ生理学や健康学等、新しい理論や技術を学習する機会を確保します。

3. スポーツ大会の開催と交流の促進

【現状と課題】

- 過去には、プロバレーボール（Vリーグ）茂原アルカスの拠点であり、高校総体や国民体育大会のバレーボール競技会場となっていたが、その後全国レベルの大会が開催されていません。
- 関東・全国レベルの大会を開催し、市民が観戦することによりスポーツへの関心の向上が期待できます。
- 過去に高校総体、国民体育大会規模の大会を対応することができ、大会を開催した経験のある施設だからこそその信用を基に、積極的な大会誘致を図っていきたい。

【施策の展開】

(1)全国レベルの大会誘致

全国規模の大会が開催され、ハイレベルな試合やプレーを市民が観戦して目の当たりすることにより、市民のスポーツへの関心が高まり、競技力の向上が期待できます。

(2)競技力向上を目的としたスポーツ大会の開催

競技スポーツに特化したスポーツ大会を開催し、競技力の向上に努めます。また、スポーツ大会を開催することにより、競技団体の組織強化を図ります。



春高バレー決勝を茂原市市民体育館で開催した様子

基本目標Ⅲ スポーツを活用した地域づくり

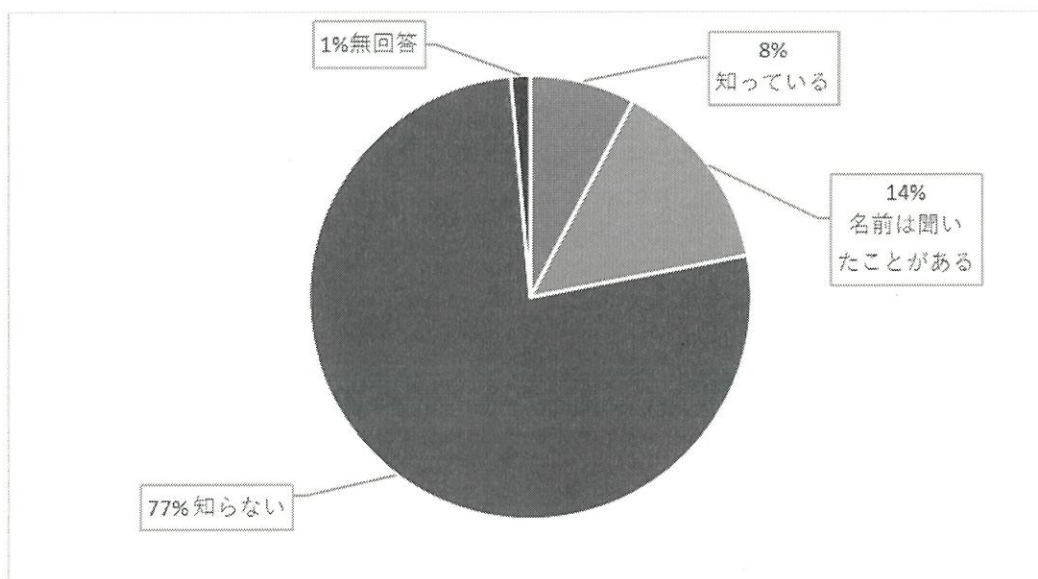
1. 総合型地域スポーツクラブの支援

【現状と課題】

- 総合型地域スポーツクラブは、生涯に渡り誰もが、自分自身のライフスタイルに合わせて継続的にスポーツに親しむことができるクラブで、地域に密着したスポーツ活動の拠点として、スポーツ振興に大きな役割が期待されています。
- アンケート結果にも表れているとおり、本市においては総合型地域スポーツクラブの認知度が低いため、より一層の啓発が必要です。
- 平成30年3月に、本市において最初の総合型地域スポーツクラブとして「緑ヶ丘スポーツクラブ」が設立され、今後は、新たなクラブの設立支援に併せて、既存クラブの活動支援も行います。

アンケート結果：あなたは、「総合型地域スポーツクラブ」を知っていますか。

	知っている	名前は聞いたことがある	知らない	無回答	計
回答者数	61	113	606	11	791
割合	8%	14%	77%	1%	100%



【施策の展開】

(1) 総合型地域スポーツクラブの設立

小学校区を拠点とした地域型クラブの設立と、市民体育館を拠点とした中央型クラブの設立を支援します。

クラブ設立を検討するため体育協会、スポーツ少年団、スポーツ推進委員、体育館自主グループ連絡協議会、青少年育成市民会議、小中学校、自治会等と情報交換を行い、設立するきっかけとなるような母体を選定し、活動を支援します。

(2) 総合型地域スポーツクラブの活動支援

既存のクラブに対して、定期的な情報交換や相談を随時受け付け、クラブ活動を支援します。

(3) 人材の発掘と育成

総合型地域スポーツクラブの円滑な運営に必要な、熱意、知識、技術を有する人材を育成します。

(4) 広報活動の推進

総合型地域スポーツクラブに対する市民の理解を深めるため、積極的な広報活動を推進します。

千葉県総合型地域スポーツクラブの設立状況（R2.6月現在）

県内 36 市町 85 団体

長生郡内総合型地域スポーツクラブの設立状況（R2.6月現在）

【茂原市】緑ヶ丘スポーツクラブ【陸沢町】睦沢ふれあいスポーツクラブ

【一宮町】一宮エンジョイスportsクラブ

2. スポーツを通じた交流の充実

【現状と課題】

- 小学校体育館を利用したタッチバレーボール教室をスポーツ推進委員が実施しており、身近な小学校の体育館で実施されていることもあり、その地域に密着したスポーツ活動が図られている。
- 地域コミュニティの促進のため地域住民同士の交流を目的とした、スポーツレクリエーション事業を検討します。

【施策の展開】

(1)市民運動会の検討

競技に特化した市民体育祭の開催に併せて、自治会や、まちづくり協議会と連携した、小学校区対抗の市民運動会の開催について検討します。

(2)地域スポーツ活動の推進

スポーツが地域住民同士の交流手段となり、身近な場所で気軽にスポーツを楽しむことができ、新たなコミュニティ形成の核となることが期待されます。また、スポーツ推進委員やスポーツボランティアの協力を得て、地域スポーツ活動を推進することにより、総合型地域スポーツクラブの設立機運の醸成が図られます。

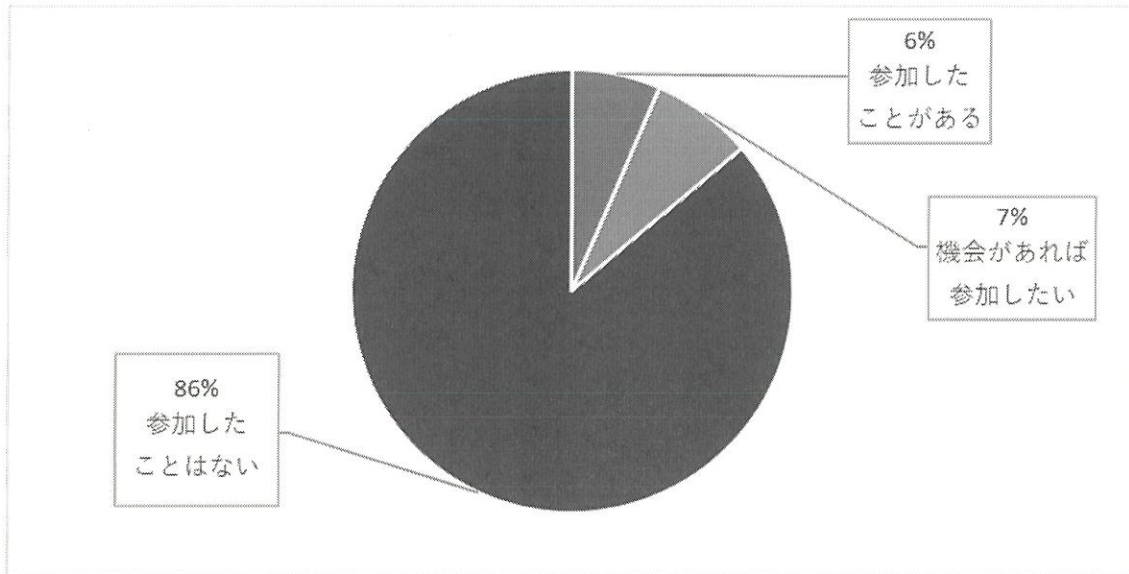
3. スポーツボランティア活動の推進

【現状と課題】

- スポーツ活動が地域に根づくためには、自主的なスポーツ活動を支えるボランティアの育成が必要です。
- 各種大会・イベントの運営をサポートする、スポーツボランティアの育成が必要です。

アンケート結果：スポーツイベントに運営ボランティアとして、イベント・大会等に参加したことはありますか。

	参加したことがある	機会があれば参加したい	参加したことはない	計	無回答
回答者数	50	57	665	772	19
割合	6%	7%	86%	100%	



【施策の展開】

(1) スポーツボランティアの育成

地域の自主的なスポーツ活動や各種スポーツ大会におけるボランティアの役割について周知するとともに、ボランティアに参加したいと思っている方を対象とした講習会を実施するなど、ボランティアの育成を図ります。

(2) スポーツボランティア登録制度の設立

市民のスポーツ活動が多様化し、「する」「みる」スポーツに加え、スポーツを「ささえる（支援）」ボランティアとして、スポーツボランティア登録制度の設立を検討します。

(3) 活動機会の確保

様々な事業を実施してスポーツ推進を図っていく上では、運営スタッフのマンパワーが必要不可欠です。事業実施の際には、積極的に周知を図りボランティアの活動機会を確保します。

4. スポーツによる地域活性の推進

【現状と課題】

- 「大相撲鍛山部屋ふれあい相撲」や「もばらタッチバレーボール千葉県大会」の開催により、市外や県外からの来場や参加者があり、スポーツイベントが本市を訪れる機会ときっかけとなっている。
- 本市活性の観光資源である「七夕まつり」「桜まつり」「冬の七夕まつり」等に加えて、「スポーツ」という別ジャンルで本市を活性化させる事業実施を検討しています。

【施策の展開】

(1) スポーツイベントを活用した茂原の魅力発信

本市発祥のスポーツ「タッチバレーボール」や「鍛山部屋ふれあい相撲」など、他市町村にはない、茂原市の独自のスポーツ活動の充実を図ることは、市民のスポーツニーズへ対応や地域の活性化に大きな意義があります。

スポーツツーリズムという新たな意識で市内外の人々との交流を促進することにより、地域経済の活性化して本市の知名度のアップを図ります。(具体的な事業実施案：茂原マラソン大会、大相撲巡業茂原場所の開催)

また、千葉ロッテマリーンズとのフレンドシップシティ・プログラム協定を締結していることも茂原市の魅力として、プロスポーツを連携した地域づくりを推進します。

将来的には、本市だけではなく、長生郡市で共通認識を持ち、「広域的な地域スポーツの活性化」を目指して、実働が図れるか協議します。

(2) 市観光事業とのタイアップ

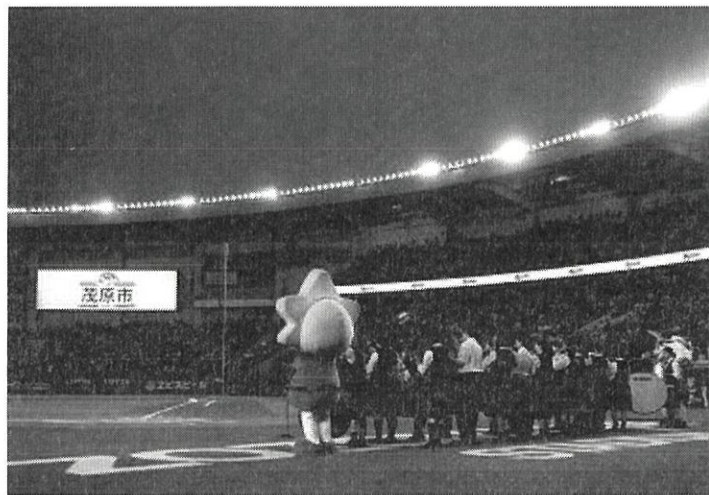
本市の観光資源である「七夕まつり」「桜まつり」「冬の七夕まつり」等のイベント時にスポーツ体験ブースの設置や、3×3バスケットボール等の大会を実施することにより、観光とスポーツとの相乗効果を見込んでの実施検討をします。



七夕まつりで実施したスリッパ飛ばし選手権



大相撲鍛山部屋ふれあい相撲



千葉ロッテマリーンズとのフレンドシップシティ・プログラム協定による
茂原市デーの開催（東中学校吹奏楽部による国歌の演奏）

基本目標Ⅳ スポーツ施設の整備と有効活用

1. スポーツ施設の整備・充実

【現状と課題】

- 市民体育館は、昭和57年の建設から長い年月が経過し、各所に経年劣化が見受けられたことや、建築基準法の一部改正に伴い、天井落下を防ぐため、令和2年度中に大規模改修工事を実施しました。利用者の利便性の向上を図るため、照明LED化、更衣室およびシャワールームの改修、障害者用トイレの改修を実施しました。
- インターネット等により空き状況の確認などが行えるシステムを構築し、更なる施設利用の利便性を向上させる必要があります。

【施策の展開】

(1)市民体育館の整備・充実

近年、熱中症搬送車数が著しく増加傾向にあることが、懸念されていることから熱中症リスクを緩和するため、快適で安全なスポーツ環境を整備するため空調設備の設置を検討します。

(2)スポーツ施設利用予約システムの構築

インターネット等により、いつでもどこからでも施設利用状況等が確認できるネットワーク化の構築により利便性を高めます。



平成30年に整備したトレーニング室



令和2年度に大規模改修工事を行った市民体育館

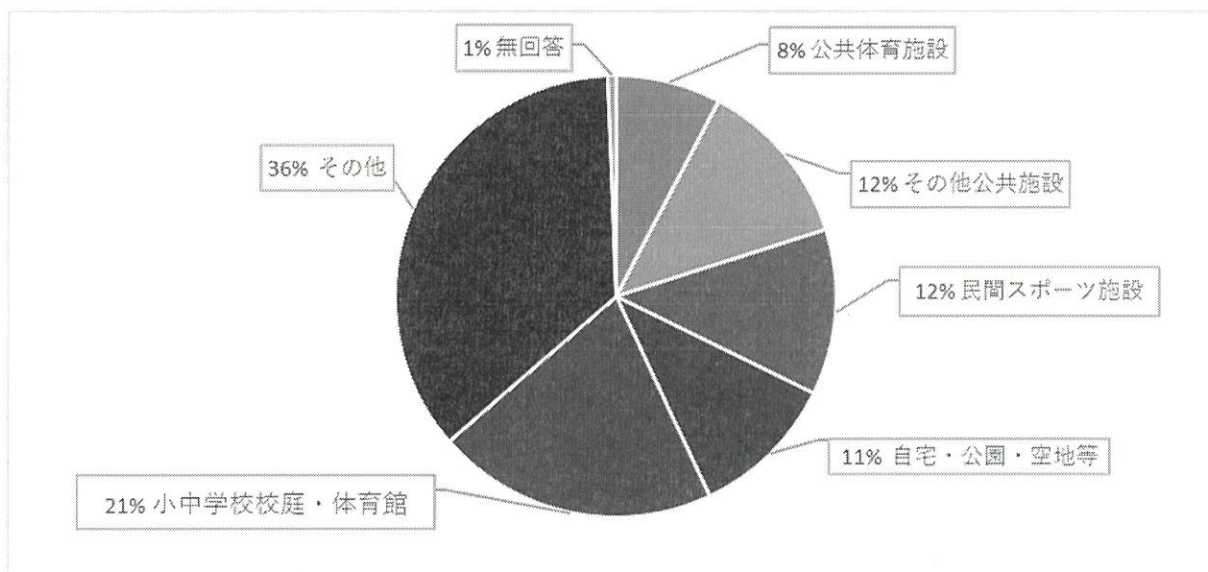
2. 「身近なスポーツの場」の充実

【現状と課題】

○本市のスポーツ実施拠点である市民体育館に加えて、小学校の体育館やグラウンドのような身近な場所でもスポーツに取り組める環境を整備し、スポーツを実施する拠点を増やして、スポーツが気軽にできる場の構築を図る必要があります。

アンケート結果：スポーツ・運動をする場所はどこですか

	公共 体育施設	その他 公共施設	民間 スポーツ 施設	自宅・公園 空地等	小中学校 校庭体育 館	その他	無回答	計
回答者数	61	98	96	85	163	283	5	791
割合	8%	12%	12%	11%	21%	36%	1%	100%



※公共の体育施設：市民体育館、市営野球場、県営施設等

※その他公共施設：公民館、福祉センター

【施策の展開】

(1) 学校施設開放の利用促進

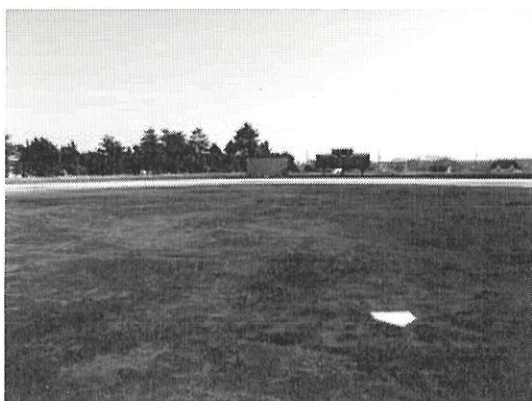
事前アンケートにおいて、スポーツをする場所についての質問に対しての回答結果は「小中学校校庭・体育館」が最も多く、学校施設開放の利用促進を図るため、各学校において利用する団体が連絡協議会等を設立し、効率的な利用ができるよう努め、併せて総合型地域スポーツクラブの設立の足掛かりになるよう促進を図ります。

(2) 民間スポーツ施設の活用

市内企業及び民間スポーツ施設と連携しての協働事業を検討し、市民スポーツの活動場所の拡充を図るなどトレーニング機器の整備、充実を図ります。

(3) 健康づくり広場の有効利用

市民体育館敷地内に位置し、主な利用用途としては、利用者の駐車場として使用しておりますが、市民体育館の側近にある屋外広場だからこそ実施できる事業を検討する等、広場の有効利用について検討します



市営野球場



市営庭球場



健康づくり広場